

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 あすのわ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の活動が固定化しないように職員間で話し合いを持ちながら検討を行っている。	毎月の活動計画を作成する際には児童の様子やご家族の要望を取り入れながら作成を行っている。	出来ることが増えていける内容や質の高い活動の提供に努めていきたい。
2	複数の学校や異学年の児童が多く、行動等も違う児童と一緒に過ごせる環境にある。	活動においても、同じものを作ったりすることで児童のレベルに沿った対応で同じものが完成出来る様に対応している。	今後も各活動において児童一人一人の特性や学年に応じて適切に対応をしていく。
3	児童が通ってくることを楽しみにしてくれており、安心できる場所となっている。	児童が安心できるように発言や希望には肯定的に対応し、話を聞くようにしている。	専門性について「わからない」「どちらともいえない」といった意見をいただいているため、専門性が向上できるように研修に参加したり、日々の支援の中で児童の小さな変化に気づき、職員間で共有できるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の評価表の中に専門性について「わからない」「どちらともいえない」や職員の支援レベルの違いといった意見があった。看護師やPT、OT、ST等の専門職がいない。	看護師やPT、OT、ST等の専門職については採用の予定は現状ない。環境の構造化や児童がわかりやすい説明等については心掛けているが保護者に見ていただく機会が少ない。児童の支援について話し合いはしているが詳細等の周知徹底まで出来ていなかった。	保育士や強度行動障害支援者養成研修の修了者が在籍しているため、今後も研修や職員間の情報共有、必要時には外部の関係機関と相談しながらより良いサービスの提供に努めていきたい。
2	利用児童に男児が多く、利用人数の割に訓練室が狭く感じられる。	訓練室以外にも児童の過ごす場所を日々の様子で対応している。	静養室を使用したりして児童が過ごしやすい環境整備を心掛けている。
3	事業所周辺の地域との交流ができていない。	地域の人との交流が出来るような活動などが出来ていない。	地域の公園へ行く機会を設けているが、猛暑等の天候や各種感染症に十分配慮しながら参加ができる地域の行事があれば参加していきたい。